



産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市
～ものづくりによる「暮らし」のアップデート～

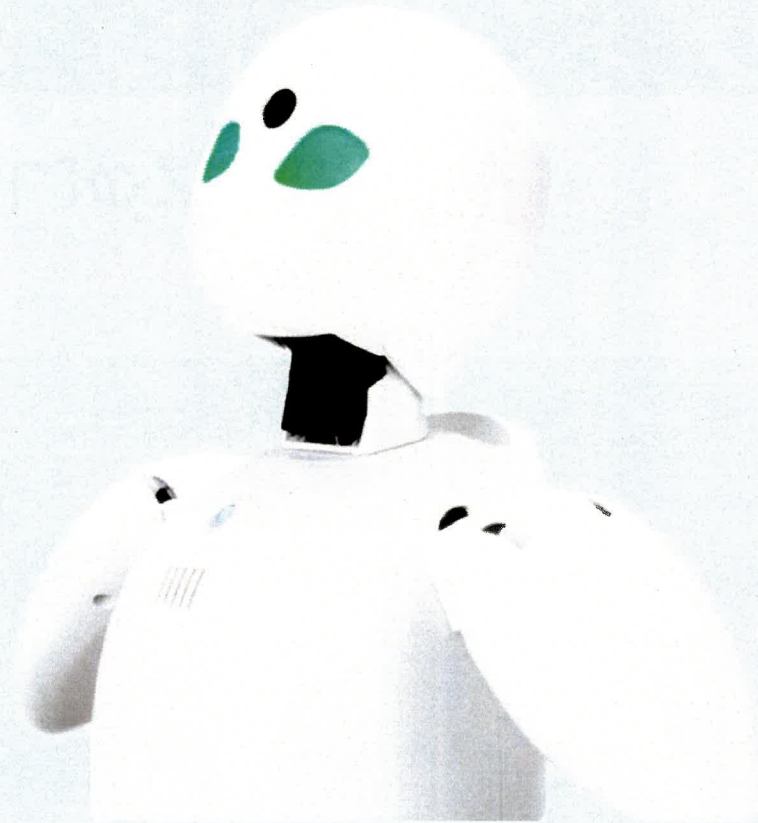


つながる
墨田区

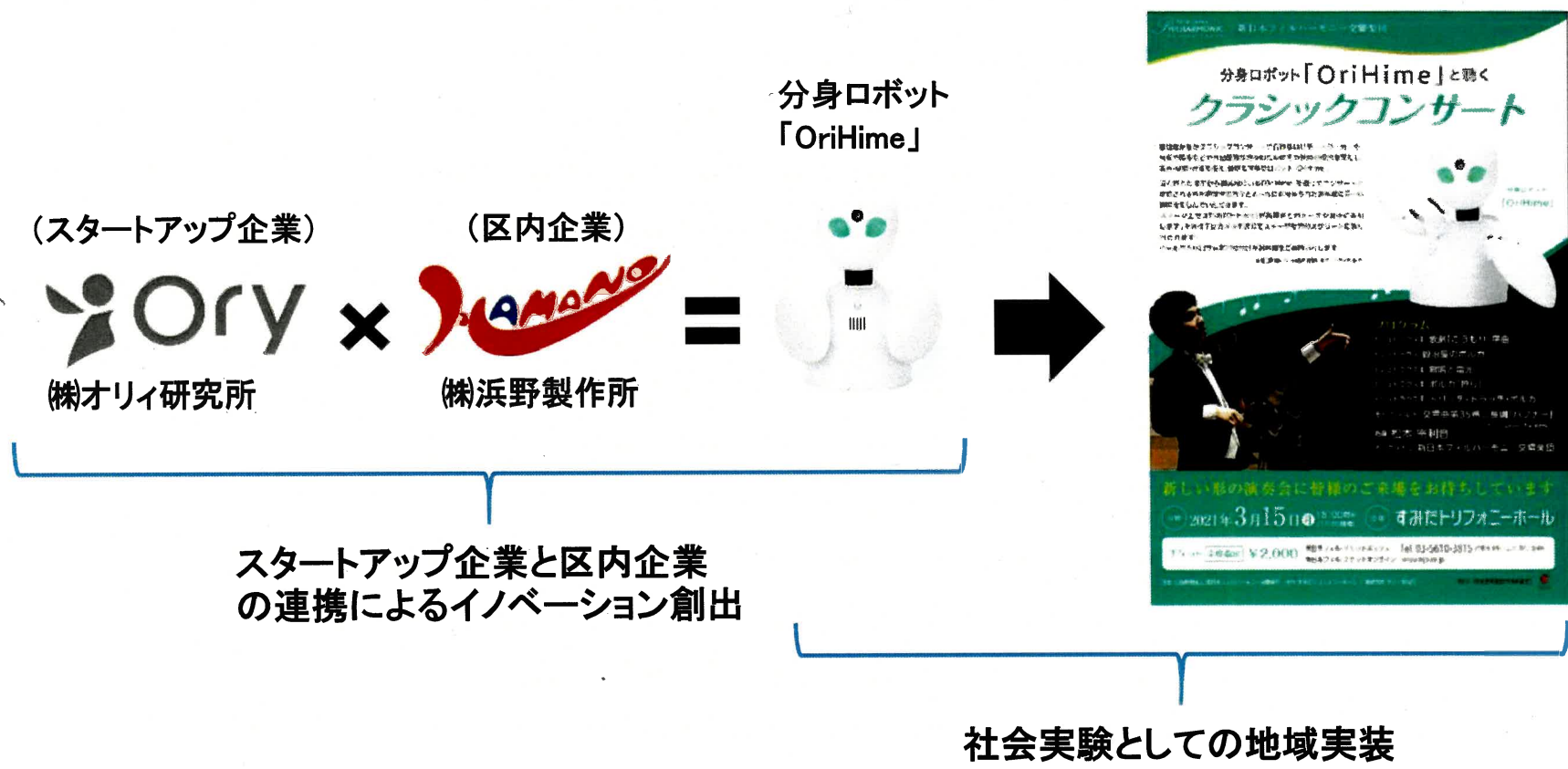
区長 山本 亨

「働きがい」を「生きがい」と「暮らし」につなげるデザイン ～プロトタイプが実装できるまち～

墨田区・八広にある株式会社浜野製作所のサポートを受け、株式会社オリィ研究所が開発した分身ロボット「OriHime」。遠隔地でも高度なコミュニケーションを取ることができるこのロボットは、人とのつながりを実感できるツールとして、場所を問わず、幅広く活躍している。このように、墨田区から生まれた社会課題解決型プロダクトは、地域を越え、人の暮らしを豊かにしている。



産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市 ～ものづくりによる「暮らし」のアップデート～



産業振興を軸としたプロトタイプ実装都市 ～ものづくりによる「暮らし」のアップデート～

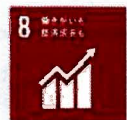
- ・スタートアップ企業と区内企業との連携によるプロトタイプ開発
- ・社会実験としての地域実装
- ・開発から実装までのプロセスにおける地域と企業とのコミュニケーション促進



- ・ 社会課題解決と地域内経済循環の促進
- ・ 持続可能なまちの実現

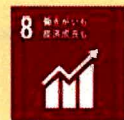
経済

- 区内企業とスタートアップ企業の連携によるイノベーション創出
(例)分身ロボットOriHimeの開発・社会実験
- 区内循環バスを含めた地域交通の在り方の検討
(例)MONET Technologies株式会社との連携によるハードウェア開発



社会

- ビッグデータ活用による区民の健康度評価研究
(例)千葉大学との連携による健康度の見える化
- 個人だけでなく組織全体の「健康」を創造する仕組みづくり
(例)墨田区版「健康経営」認定制度



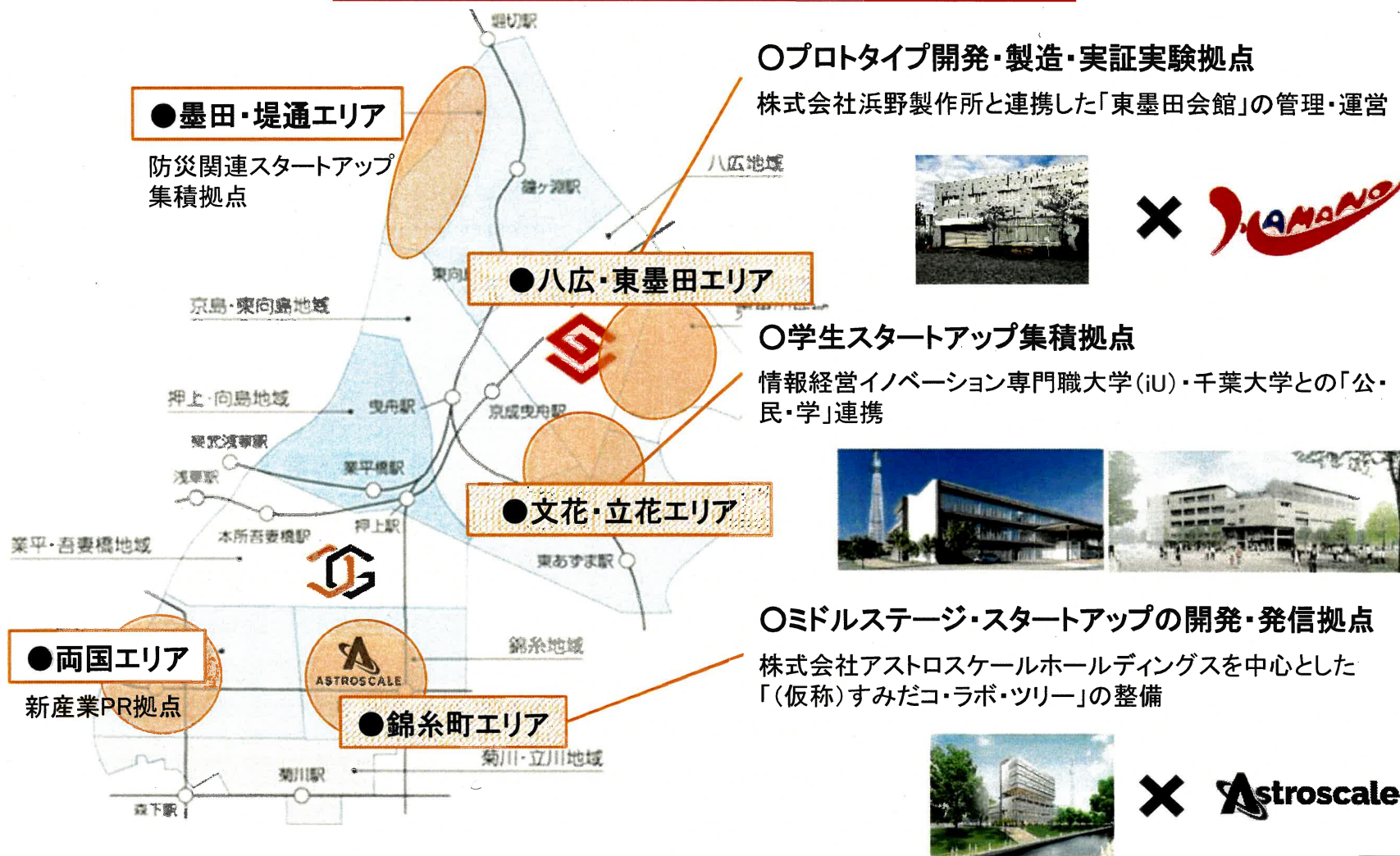
環境

- 2Rを優先した啓発活動の強化によるごみの削減
(例)AI搭載「ごみ分別チャットボットの活用」
- COOL CHOICEを意識したエコライフの推進による行動促進
(例)脱炭素に寄与する環境にやさしい商品の購入



統合的取組の概要①

ハードウェア・スタートアップ拠点構想事業



統合的取組の概要②

八広・東墨田エリア



日本有数のハードウェア・スタートアップ支援実績を誇る株式会社浜野製作所と連携し、スタートアップが開発・製造・実証実験を行う場を整備する。

区内企業とスタートアップの連携促進

ICT技術等をものづくりに展開したiUの学生スタートアップ集積

ものづくりによる
地域課題の解決

ビッグデータを活用した
区民の健康度評価

文花・立花エリア



在学中に全ての学生が起業するiUとの連携や、千葉大学の専門的な知見を生かしたまちづくりを推進する。

千葉大学と連携した調査・分析

カーボンニュートラルにも寄与する緑化の推進・
生物多様性の保全

錦糸町エリア



区と協議の上、ヒューリック株式会社が新産業振興拠点を整備し、アストロスケールホールディングスといったミドルステージ・スタートアップを集積させる。

SDGsに対して具体的なアクションを行うスタートアップ等の誘致

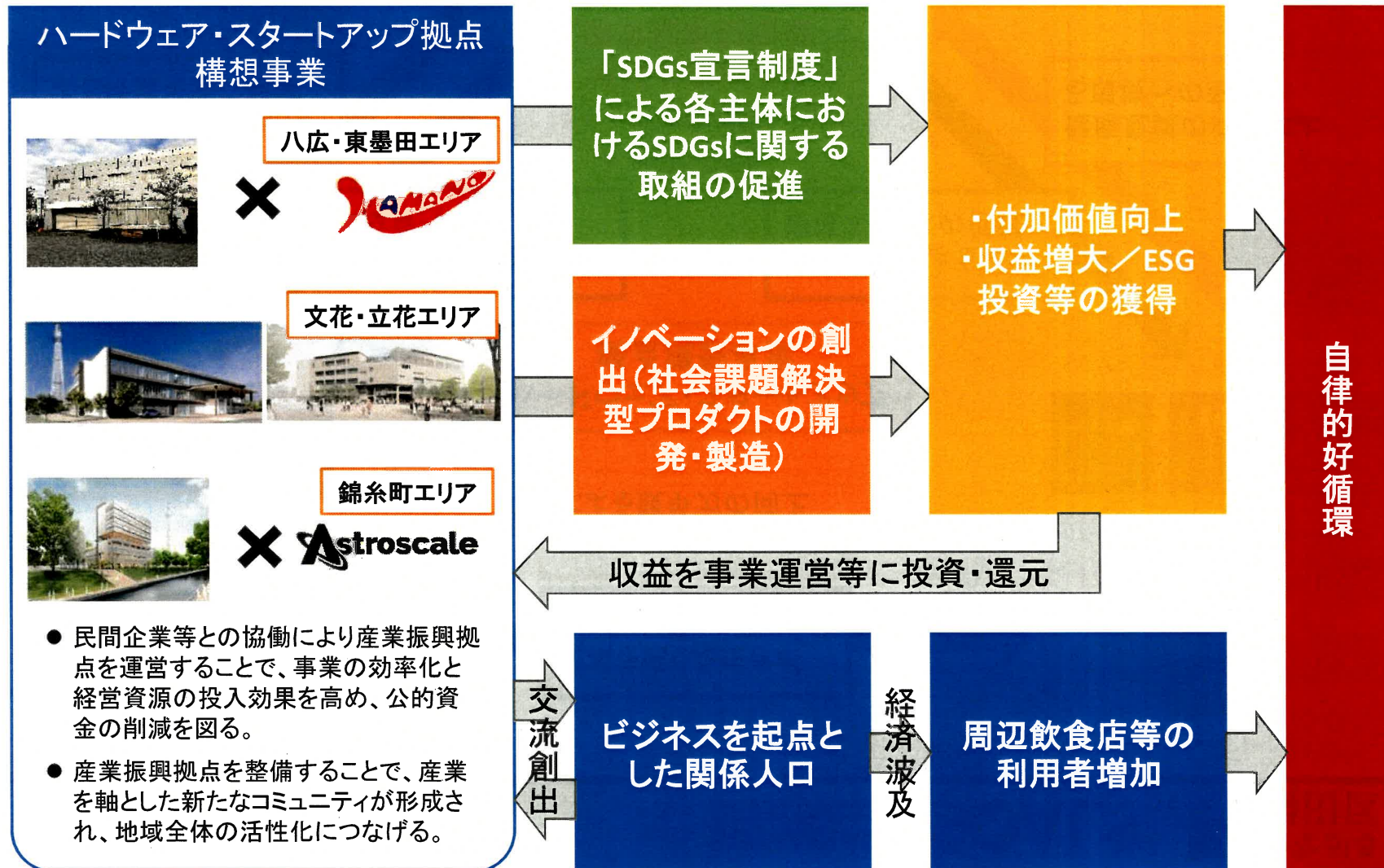
世界的なスタートアップの発信力を生かした地域のイメージアップ

SDGsや環境に対する区民意識の向上

三側面の相乗効果



自律的好循環に向けて



「働きがい」を「生きがい」と「暮らし」につなげるデザイン
～プロトタイプが実装できるまち～

